

# 平成20年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・ハダニ類（No.1）

平成20年12月25日

鳥取県病害虫防除所

## 1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンド当たり平均1.2頭（平年：13.5頭）で、平年よりやや少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭（平年：0.0頭）で、今回の調査では確認できなかった。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり7.7個（平年：1.6個）で、平年より多い。

表1 ナシ・ハダニ類の越冬密度\*

調査地点	カンザワハダニ			ナミハダニ			クワオオハダニ			
	本年	前年	平年値	本年	前年	平年値	本年	前年	平年値	
東部	鳥取市 祢宜谷	0	0	0.9	0	0	0.0	1.0	0.3	1.2
	鳥取市 佐治町	0	0.3	18.7	0	0.2	0.0	34.6	3.2	1.3
	鳥取市 青谷町**	0	0	1.2	0	0	0.1	0.1	0.2	0.8
	八頭町 花原	0	0	1.7	0	0	0.0	7.8	1.5	0.7
	平均	0	0.1	6.9	0	0.1	0.3	10.9	1.3	1.4
中部	倉吉市 中野	0	0	0.9	0	0	0.0	0	1.0	1.3
	湯梨浜町 別所***	11.7	0	4.6	0	0	0.1	0.3	0.4	1.3
	琴浦町 八橋	0.7	0	0.3	0	0	0.0	0	0.6	0.7
	琴浦町 竹ノ内	0	0.3	3.2	0	0	0.0	17.6	11.8	7.6
	平均	3.1	0.1	3.4	0	0	0.0	4.5	3.5	2.6
西部	大山町 坪田***	0	0	0.9	0	0	0.0	5.1	0.1	0.8
	南部町 朝金	0	0	100.2	0	0	0.0	10.2	0.5	0.7
	平均	0	0	30.3	0	0	0.0	7.7	0.5	0.7
県平均		1.2	0.1	13.5	0	0.0	0.1	7.7	2.0	1.6

平年値は平成10～19年の10年間平均

\*カンザワハダニ及びナミハダニはバンドあたりの越冬個体数。クワオオハダニは短果枝あたりの越冬卵数

\*\*鳥取市青谷町は平成15～19年の5か年平均

\*\*\*湯梨浜町、大山町の平年値は、平成13～19年までの7か年平均

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園当たり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。12月に紙バンドを回収後、バンド当たりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。同時に園当たり20短果枝を採取し、短果枝当たりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

## 2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、来年への越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには(1)～(3)、クワオオハダニには(3)が有効である。クワオオハダニは過去10年間で最も高い越冬密度となっているため、防除を徹底する。

### (1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や亜主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

### (2) 粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

### (3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤（ハーベストオイル）50倍液を散布する。